

科学研究費助成事業 補助事業廃止承認申請書

平成29年12月12日

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

〇〇大学・〇〇研究科・教授 〇〇 〇〇 [印]

機関番号	1 2 3 4 5
研究者番号	1 0 7 6 5 4 3 2

科学研究費助成事業の補助事業について、下記のとおり廃止したいのでご承認くださるようお願いいたします。

記

1. 研究種目名 基盤研究 (B) (一般)

2. 課題番号 2 6 2 3 4 5 6 7

3. 研究課題 〇〇の××に関する総合的研究

4. 交付決定額

	直接経費 [①]	間接経費 [②]	合計 [①+②]
科学研究費補助金 (平成29年度)	3,300,000 円	990,000 円	4,290,000 円
学術研究助成基金助成金 (期間全体)	5,000,000 円	1,500,000 円	6,500,000 円

5. 研究期間 平成26年度～平成30年度

6. 使用状況

(1) 既受領額

	直接経費 [③]	間接経費 [④]	合計 [③+④]
科学研究費補助金 (平成29年度)	3,300,000 円	990,000 円	4,290,000 円
学術研究助成基金助成金 (累計額)	1,900,000 円	570,000 円	2,470,000 円

※④ (②=「0」であれば「0」を記入)

(2) 支出済額

	直接経費 [⑤]	間接経費 [⑥]	合計 [⑤+⑥]
科学研究費補助金 (平成29年度)	3,300,000 円	990,000 円	4,290,000 円
学術研究助成基金助成金 (累計額)	1,200,000 円	360,000 円	1,560,000 円

※⑥ [⑤×30%] (円未満切り捨て)

廃止年度前年度までに支出された間接経費は、直接経費の支出済額の30%を超える分も含めて構わない。

(3) 未使用額

	直接経費 ⑦ [③-⑤]	間接経費 ⑧ [④-⑥]	合計 [(⑦+⑧)]
科学研究費補助金 (平成29年度)	0 円	0 円	0 円
学術研究助成基金助成金	700,000 円	210,000 円	910,000 円

7. 補助事業廃止の発生年月日及びその理由

(所属機関を変更する場合には、応募資格の有無およびその変更先も記載すること。)

発 生 年 月 日	平成29年12月31日		
理 由	平成30年1月1日付けで海外の研究機関に採用されるため、平成29年12月31日で現在の職を辞職することとなり、応募資格を失うため。		
応募資格の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	変更後所属機関	科研費指定機関以外

科研費指定機関以外の場合は「科研費指定機関以外」等と記載。
退職後所属機関がない場合は「なし」と記載。

8. 変更交付決定額

	直接経費〔⑤〕	間接経費〔⑥〕	合計〔⑤+⑥〕
科学研究費補助金（平成29年度）	3,300,000 円	990,000 円	4,290,000 円
学術研究助成基金助成金（期間全体）	1,200,000 円	360,000 円	1,560,000 円

<対象課題>

基盤研究（B）又は若手研究（A）（平成24年度から平成26年度に採択された研究課題（配分総額が500万円以下の研究課題を除く。））

研究代表者が、補助事業を廃止する場合に事前に作成し、所属する研究機関を通じて日本学術振興会に1部提出すること。

なお、2年度目以降の研究課題の交付申請を辞退する場合には、本様式を作成・提出するとともに、交付内定通知以降に所属研究機関代表者が「交付申請の辞退届（様式X-7）」を科研費電子申請システムにより作成し、別途指示する期日までに日本学術振興会へ送信すること。

●作成・提出に当たっては、以下について留意すること。

- ・ A4判（縦長）・両面印刷を行うこと。
- ・ 押印（または署名）をすること。研究代表者の印は、印肉を使用して押印するものとする。
- ・ 本様式の作成時に誤入力があった場合には、改めて作成すること（訂正印及び修正液等の使用は認めない。）。
- ・ 初年度および当該年度の「交付申請書（様式X-2-1およびX-2-2）」の写を各1部添付すること。その他、提出時に添付すべき書類は「様式提出時 添付書類一覧（一部基金分）」を参照すること。

1. 「研究代表者所属研究機関・部局・職・氏名」

研究代表者の所属する研究機関名、部局名、職名を省略せずに記入すること（部局のない研究機関の場合は、部局名は不要。）。

2. 「機関番号」

研究代表者が所属する研究機関の機関番号（5桁）を記入すること。

3. 「研究者番号」

府省共通研究開発管理システム（e-Rad）の研究者情報に登録されている研究者番号（8桁）を記入すること。

4. 「1. 研究種目名」

交付決定通知書に記載の研究種目名を記入すること。

5. 「2. 課題番号」

交付決定通知書に記載の課題番号（8桁）を記入すること。

6. 「3. 研究課題名」

交付申請書（様式X-2-1およびX-2-2）に記載した研究課題名を記入すること。

7. 「4. 交付決定額」

交付決定通知書に記載の交付決定額を記入すること（本様式提出以前に変更している場合はその額）を記入すること。

8. 「5. 研究期間」

交付申請書に記載の研究期間を記入すること。なお、研究期間の延長が認められている場合には、延長後の研究期間を記入すること。

9. 「6. （1）既受領額」

科学研究費補助金については当該年度の受領額を、学術研究助成基金助成金については、研究開始年度からこの申請書の提出時までに日本学術振興会から受領している額の累計額（支払請求書等を提出し受領を予定している助成金がある場合は、その金額も含めること。）を記入すること。

10. 「6. (2) 支出済額」

科学研究費補助金については当該年度の支出額を、学術研究助成基金助成金については、研究開始年度からこの申請書の提出時までの支出額の累計額（利子（預貯金利息）を除く。）を記入すること。

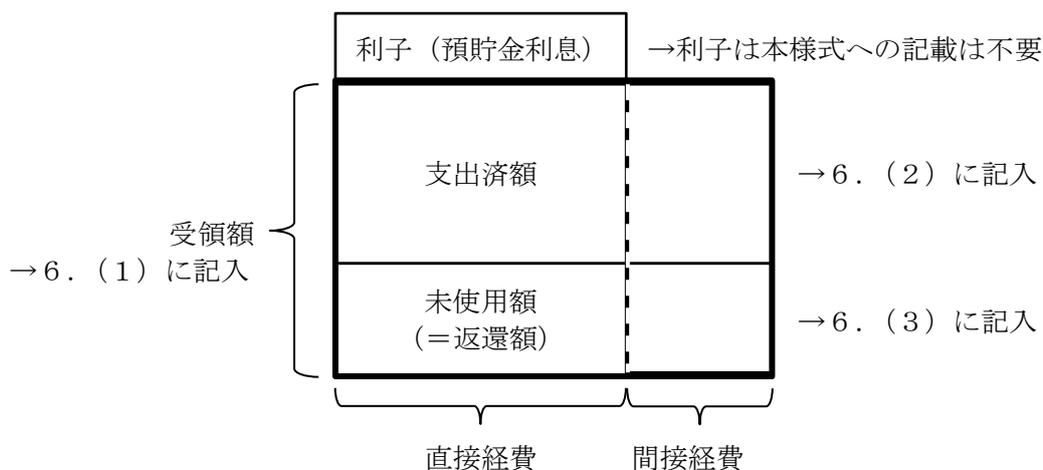
間接経費の額は、円未満を切り捨てた額を記入すること。

ただし、廃止する年度の前年度以前に受領した助成金の間接経費について、研究代表者又は研究分担者の所属する研究機関において、廃止する年度の前年度以前に間接経費の執行が終了している場合には、その額を含めた額（必ずしも⑥＝⑤×30%とはならない。）となるため、所属する研究機関に確認して記入すること。

11. 「6. (3) 未使用額」

日本学術振興会への返還額を記入すること。

<利子（預貯金利息）の考え方>



- ※ 利子（預貯金利息）や解約利息が生じた場合は、交付条件に定めているとおり機関に譲渡すること。
- ※ 発生した利息を補助事業に使用した場合でも、申請書の「既受領額」や「支出済額」には含めないこと。

12. 「7. 補助事業廃止の発生日及びその理由」

研究代表者が退職に伴う資格喪失等により研究ができなくなる時点を記入し、その具体的理由を記入すること。所属機関の変更があるものは、応募資格の有無およびその変更先も可能な限り記入すること。

13. 「8. 変更交付決定額」

「6. (2) 支出済額」欄の金額を記入すること（「6. (1) 既受領額」欄の金額から「6. (3) 未使用額」欄の金額を差し引いた金額となる。）。